

# 連珠っておもしろい

## 九段 河村典彦

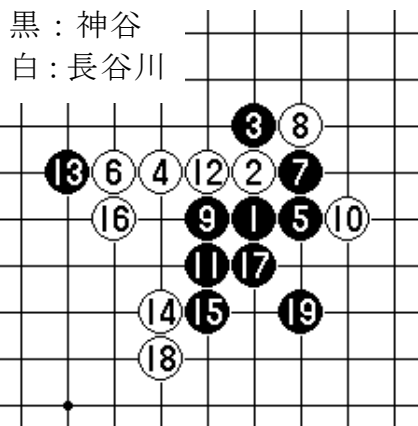
### ● 第81回 ●

#### ■ 神谷台風

今年のA級リーグは観戦を楽しんだ。仕事の日もあったので全部は見られなかったが、いつもながらの雰囲気は味わえた。ただ、局譜がわからなかったので、リアルタイムで解説ができれば何かしらコメントができるのだが、対局風景だけではなかなか話題が続かない。贅沢を言うつもりもなくボランテアでやってくれていることに感謝しているが、局譜がわかるともつと連珠に興味を持つてくれる人が増えるだろうと思つた次第である。

結果はご承知の通り神谷君が8勝1分という好成绩で初優勝を飾った。その要因となつた一局が初日の第

一局目であることは間違いないだろう。相手は長谷川九段。実績からすると不利だと思つたのだが、局譜を見てびっくりした。

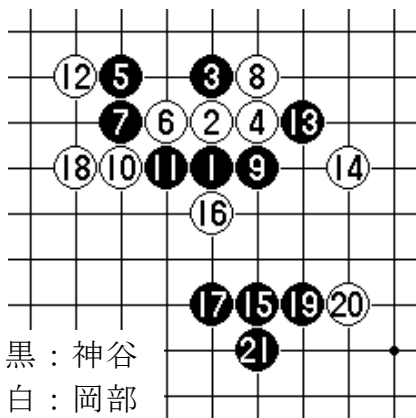


黒：神谷  
白：長谷川

「あれ？この作戦は解決済みでは？」ということを瞬間思い出し、よく考えてみても昨年のA級リーグでは私も既に知っていた情報である。これを長谷川氏がなぜかけたのが不思議だ。少々補足すると、白4、6の作戦に対し黒7と止め、白8には黒9から引き出し、白8には黒9から引き出し、追いつき勝ちとなる。しかしながら、その手順は非常に難しく、黒19が妙手で以下難解ながらも黒勝ちとなる。とは言え、高段者であれば、一度この情報を聞けば長い時間の実戦なら黒勝ちができるであろう。局譜を見る限り、白に特別な作戦があったとは思えず、単に情報抜けだけだったようだ。

神谷君にとってはラッキーな1勝だったと思うが、こういう勝ち方をするとたいてい流れがこっちに来る。私も以前同じように研究済みの局面で長谷川氏に勝つたことがあるが、その期は優勝している。

その後、神谷君は順調に勝ち続け、4連勝で迎えた岡部戦。またも寒星からのスタート。岡部君が白8で変化したため、あまり見られない形になった。白12まで疎星の変化に似た形に見えるので黒があまり良くないかとも思つたが、黒15と大きく展開したのが若手ら



黒：神谷  
白：岡部

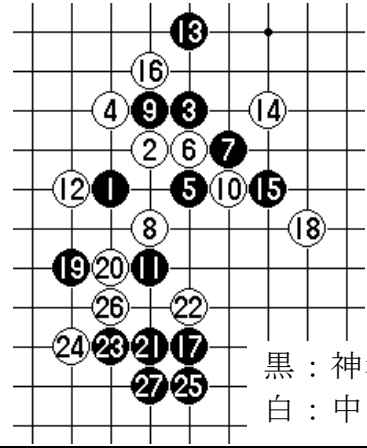
しいはつらつとした一着。

黒17から21と連打し、こだけで勝ち形を作つてしまった。「こんな速攻ができるんかいな？」と感心した次第である。まさに、『神つてる』状態だろう。

そして7回戦。迎えた中山七段との大一番。何と長星黒勝ちをもぎ取っている。ここまで来ると「神谷台風」どころではないだろう。

局面は長星定石からのスタートとなつた。白12までに対し黒13が不思議な一手で、これが白を惑わせた

のかもしれない。

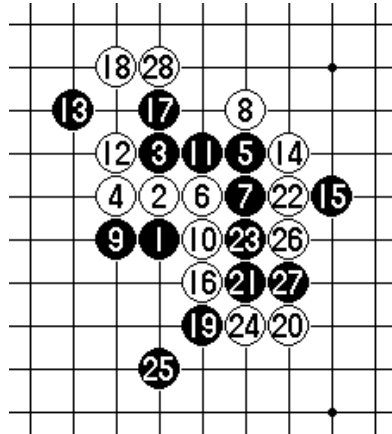


黒：神谷  
白：中山

白16は迷っただろう。黒13の効果で上止めさせたと思うが、黒17が岡部戦を彷彿とさせるのびのびとした一着。黒21と組んでみると、広さが味方している。

白22では26に止められないのが辛い。黒27まで見事に勝ち切った。結果的には白12が甘かったと思うが、これまでの快進撃が白を弱気にさせたのだろう。この一局ではほぼ優勝を決めた神谷君は残りの局も勝ち、見事初優勝を飾った。こうなると、この勢いが中村名人に通用するかが今

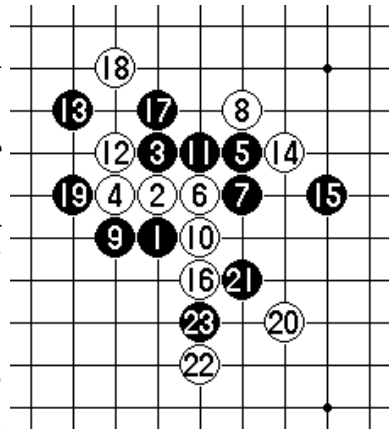
度は見物になる。楽しみな決定戦となった。まずは第一局を振り返ってみよう。



白28以下満局  
黒 神谷 白 中村名人

決定戦でも寒星が打たれた。黒15までに対し、白16が中村名人の作戦だろう。平凡なようだがなかなか気が付きにくい一手だ。対して黒17と引いたのはちよつと損に見えるが、他の手も難しい。黒19と打った時には白20と四々禁にしたのは、中村名人にしては動きすぎかとも思ったが、まあ

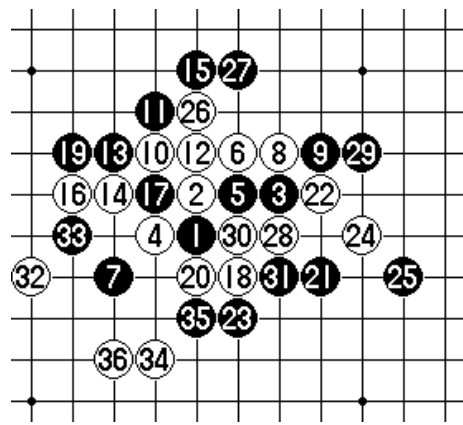
形が決まるので白としては悪くない。黒19では次のように変化する手もあった。



せつかく黒17と引いたので、黒19と打つ手が可能になる。一見白22まで三々禁のようだが、堂々と黒23と止めて四々禁が絡むので三々禁にならない。黒17を打つてないと当然三々禁になる。

第一局の結果は満局だったが、中村名人としては神谷君の勢いをまずは止めたかっただろうから、満局は悪くない結果だろう。実際、第二局では中村流を炸裂させた。

白36にて黒投了  
黒 神谷 白 中村名人



残月から始まったが、A級リーグでも流行した例の形だ。これを見つけたかどうさばくのが見たかった。白12・14には黒15と引かれて白が不利かと思っていたが、最近の研究ではそうではないらしい。黒21など神谷君らしい一手と思つたが、白26からいきなり勝ちがあつたのには驚いた。久々の中村名人の速攻が見られた。さて第三局で神谷君の反撃があるだろうか？